

平成26年度 全国学力・学習状況調査結果の概要について

東松島市教育委員会

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査実施日

平成26年4月22日（火）

3 参加児童生徒

東松島市内の小学校6年生（394人）、中学校3年生（410人）

4 調査結果による全体的傾向の概要

(1) 教科に関して

小学校、中学校ともに国語、算数・数学において、A問題（知識に関する問題）、B問題（活用に関する問題）ともに前年度と比較して平均正答率が向上しました。しかし、県や全国と比較すると下回っております。全体的に、基礎・基本の確実な一層の定着と、身に付けた知識や技能を活用する力の向上が課題となっております。

※ 平均正答率…各児童生徒について全設問における正答数の割合を算出した値（個人の正答率）を足し合わせ、児童生徒の人数で割った値のこと。

(2) 生活習慣等に関して

本市の小・中学生は県や全国と比較して、平日の家庭におけるテレビやビデオ、DVD等の視聴の時間及びゲームをしている時間、スマートフォン等を使用している時間が長いことが分かりました。

(3) 教科と生活習慣等の関連に関して

決まった時間に就寝・起床することといった家庭における基本的な生活習慣が身に付い

ている児童生徒、朝ご飯をしっかりとっている児童生徒、テレビ等の視聴やゲーム、携帯電話・スマートフォンを使用する時間について節度を守っている児童生徒は、どの教科においても正答率が比較的高い傾向が見られました。また、将来の夢や目標を持っている児童生徒も、正答率が比較的高い傾向が見られました。

5 調査結果（データ）の概要

5-1 教科に関する調査結果

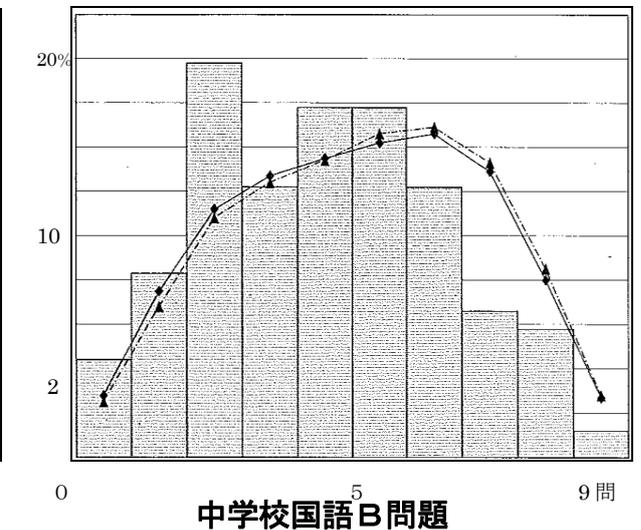
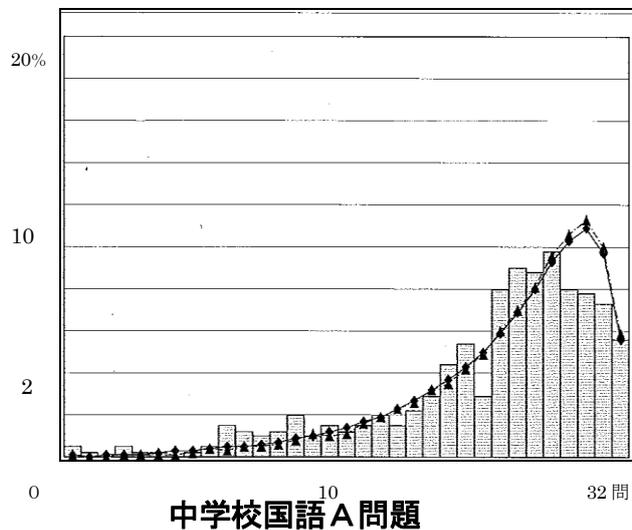
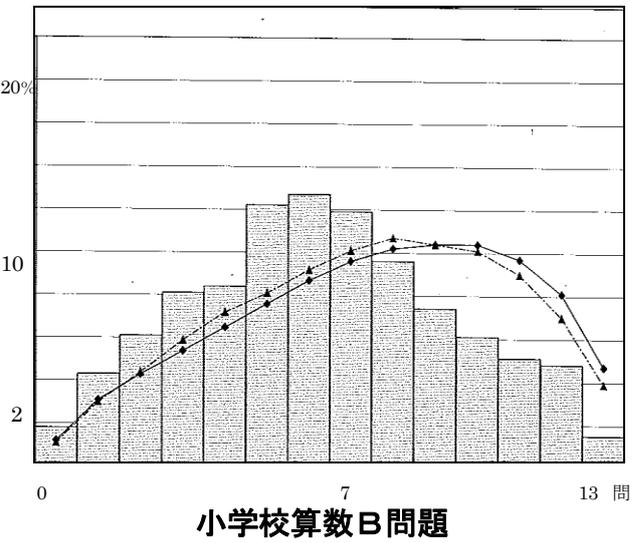
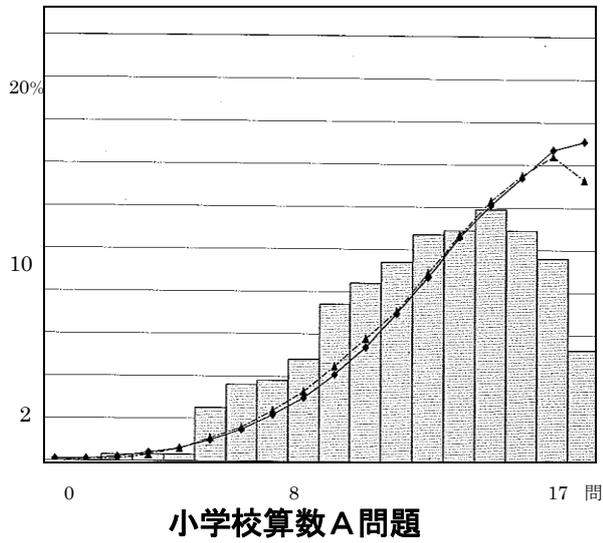
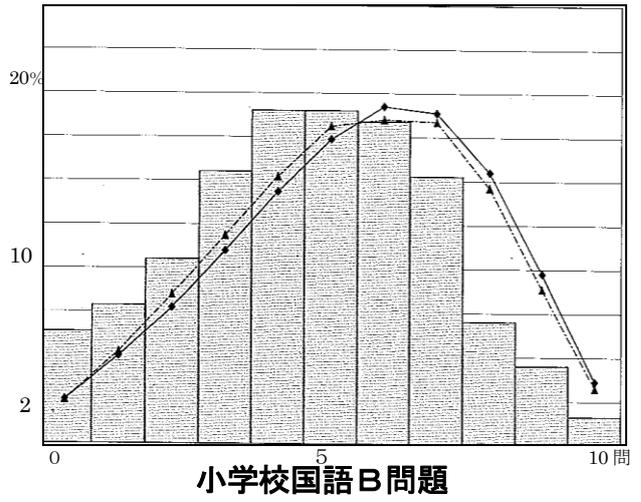
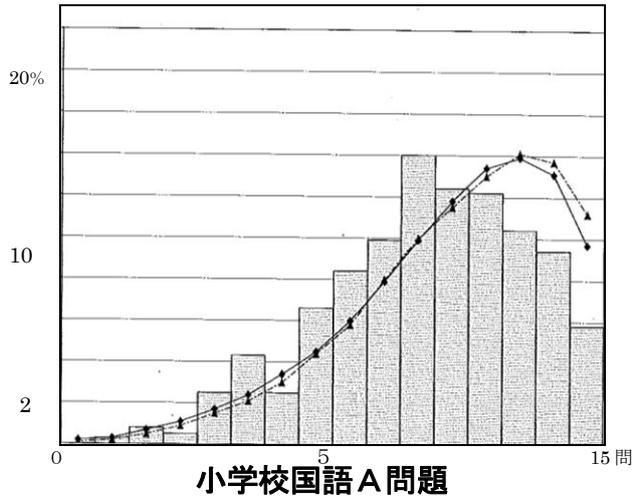
(1) 正答率一覧（単位%）

		国語「知識」に関するA問題		国語「活用」に関するB問題	
		26年度（前年比）	25年度	26年度（前年比）	25年度
小学校 6年	本市	68.6 (13.2)	55.4	46.0 (3.3)	42.7
	県 県との比較	74.2 (13.4) -5.6	60.8 -5.4	54.3 (6.7) -8.3	47.6 -4.9
	全国 全国との比較	72.9 (10.2) -4.3	62.7 -7.3	55.5 (6.1) -9.5	49.4 -6.7
中学校 3年	本市	76.4 (0.6)	75.8	44.4 (-22.7)	67.1
	県 県との比較	80.3 (2.7) -3.9	77.6 -1.8	52.0 (-16.6) -7.6	68.6 -1.5
	全国 全国との比較	79.4 (3.0) -3.0	76.4 -0.6	51.0 (-16.4) -6.6	67.4 -0.3

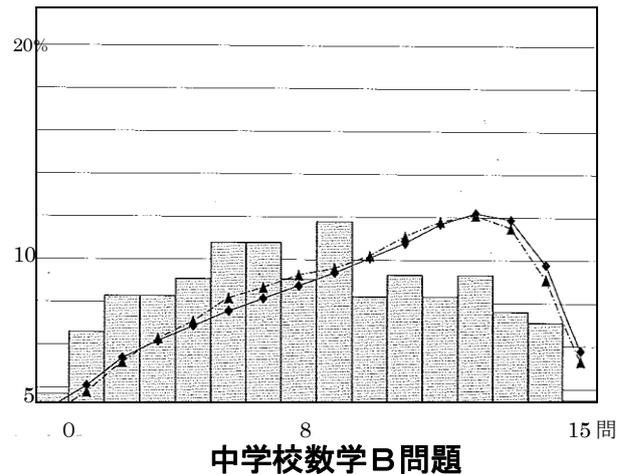
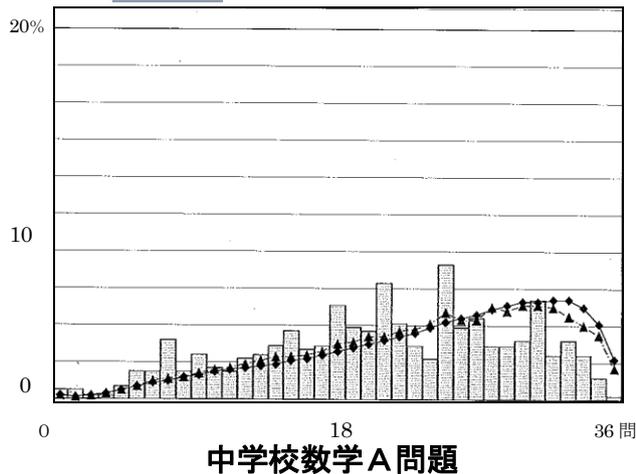
		算数・数学「知識」に関するA問題		算数・数学「活用」に関するB問題	
		26年度（前年比）	25年度	26年度（前年比）	25年度
小学校 6年	本市	70.6 (-3.5)	74.1	48.7 (-3.9)	52.6
	県 県との比較	77.3 (1.0) -6.7	76.3 -2.2	56.8 (0.3) -8.1	56.5 -3.9
	全国 全国との比較	78.1 (0.9) -7.5	77.2 -3.1	58.2 (-0.2) -9.5	58.4 -5.8
中学校 3年	本市	58.0 (0.9)	57.1	49.5 (16.2)	33.3
	県 県との比較	65.6 (3.4) -7.6	62.2 -5.1	59.4 (19.7) -9.9	39.7 -6.4
	全国 全国との比較	67.4 (3.7) -9.4	63.7 -6.6	59.8 (18.3) -10.3	41.5 -8.2

(2) 正答数の分布

【凡例】  本市  宮城県  全国 縦軸…人数割合 横軸…正答数



【凡例】  本市 ---▲--- 宮城県 —◆— 全国 縦軸…人数割合 横軸…正答数



(2) 各教科の調査結果に見られた主な傾向

※この調査結果は、今回出題された学習内容に対する結果であり、「学力」すべてを言い表しているものではありません。また、結果についても、学校における教育活動における一側面をとらえたものです。

凡例：○：おおむね定着している主な学習内容 ●：定着が不十分と判断される主な内容

【小学校国語】

- 目的に応じて、話し合いの観点を整理すること。
- 文の意味のつながりをとらえること。
- 立場を明確にして、質問や意見を述べること。
- 分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くこと。

【小学校算数】

- 加減乗除の計算に関すること。
- 体積の単位を理解し、直方体の体積を測定すること。
- 作図に用いられている図形の約束や性質の理解に関すること。
- 示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述すること。

【中学校国語】

- 語句の意味を理解し、文脈中の中で適切に使うこと。
- 登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解すること。
- 複数の資料を比較して読み、要旨をとらえること。
- 根拠を明確にして、自分の考えを書くこと。

【中学校数学】

- 正負の数の意味を理解し、実生活の場面に結び付けて表すこと。
- 日常的な事象を表した図を観察し、空間における位置に関する情報を適切に読み取ること。
- 度数分布図から相対度数を求めること。
- 図形の性質を、構想立てて証明すること。

5-2 学習や生活習慣の様子について

(1) 学習に対する関心・意欲・態度

[単位%、()は県との比較、上段今回、下段昨年度]

質問事項	小学校	中学校
国語の勉強は好きですか。	57.9(-1.3)	54.9(-6.0)
	51.0(-6.3)	60.6(+0)
国語の授業の内容はよく分かりますか。	76.2(-2.6)	59.8(+0)
	76.0(-2.4)	67.9(-6.4)
読書は好きですか。	67.0(-5.8)	65.9(-7.7)
	66.1(-6.0)	68.6(-5.7)
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。	53.5(-7.2)	43.9(-12.2)
	52.6(-4.8)	48.1(-10.9)
算数・数学の勉強は好きですか。	58.7(-7.6)	56.6(-1.3)
	62.2(-4.4)	57.4(+1.6)
算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。	70.3(-7.9)	65.1(-6.3)
	75.7(-2.9)	68.1(-2.4)
算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	60.2(-6.7)	36.1(-7.6)
	64.4(-1.4)	40.6(+0.8)
算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。	77.4(-4.6)	76.6(-3.6)
	81.5(+0.6)	84.8(+4.2)

※国語と算数の勉強は「好き」と回答している小学生の割合は、県の数値よりも低くなっていますが、国語の勉強が「好き」と回答している小学生の割合は、昨年度よりも高くなりました。

(2) 基本的な生活習慣、家庭生活、家庭でのコミュニケーション

[単位%、()は県との比較、上段今回、下段昨年度]

質問事項	小学校	中学校
朝食を毎日食べていますか。	95.0(-1.8) 98.3(+1.6)	90.0(-4.6) 93.3(-1.4)
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	72.8(-9.0)	68.8(-8.7)
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	87.6(-3.3)	89.2(-3.7)
普段(月～金曜日)1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ、DVDを見たり聞いたりしますか。(3時間以上)	50.3(+10.7) 45.4(+3.5)	43.2(+12.9) 34.4(+4.7)
普段(月～金曜日)1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式ゲームを含む)をしますか。(3時間以上)	29.7(+12.3) 19.8(+3.7)	31.7(+11.9) 19.7(+5.4)
普段(月～金曜日)1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(2時間以上)	15.3(+6.8)	42.9(+10.9)
家の人と学校での出来事について話をしていますか。	74.4(-7.1) 76.1(-1.7)	69.0(-5.2) 69.1(+1.5)

※小学生、中学生の平日のテレビやビデオ等の視聴、ゲーム等をする時間、携帯電話やスマートフォンの使用時間が昨年度よりもさらに長い傾向が見られます。また、県の平均値と比較しても高くなっています。夜更かしの傾向も数字から見て取れます。

(3) 学習時間等

[単位%、()は県との比較、上段今回、下段昨年度]

質問事項	小学校	中学校	
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	50.8(-14.9) 61.7(+0.4)	43.2(-7.2) 45.9(-2.6)	
家で学校の授業の予習をしていますか。	39.3(-10.9) 42.2(-5.4)	41.7(-5.0) 37.4(-10.9)	
家で学校の授業の復習をしていますか。	54.3(-12.6) 59.8(-2.1)	61.9(-1.1) 58.6(-2.2)	
学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(塾を含む)。	2時間以上	22.6(+1.2) 20.2(-1.8)	23.4(-6.2) 24.7(-6.0)
	1時間以上	32.7(-10.0) 37.1(-5.7)	34.9(-1.6) 36.2(+0.5)
	30分以上	31.7(+5.2) 32.0(+6.7)	22.0(+2.5) 20.7(+1.7)
	30分以下	12.9(+3.5) 10.8(+1.0)	19.8(+5.5) 18.4(+3.9)
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(小：2時間以上、中：3時間以上)	17.3(-4.7) 15.2(+2.7)	11.9(-3.7) 8.4(-7.1)	
学習塾(家庭教師含む)で勉強をしていますか。	46.7(+6.5) 35.9(+3.6)	55.4(+0.4) 47.6(-1.3)	

※小・中学生とも普段の学校以外での学習時間及び休日等の学習時間は、全体的に県の平均値よりも少ない傾向にありますが、休日の学習時間の割合が昨年度よりも若干伸びました。

(4) 自分を大切にしたいことや社会のルールを守ろうとする意識

[単位%、()は県との比較、上段今回、下段昨年度]

質問事項	小学校	中学校
自分にはよいところがあると思いますか。	72.3(-1.7)	58.0(-7.3)
	61.2(-11.0)	65.1(-0.5)
物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。	89.4(-4.4)	93.2(-1.0)
	92.4(-1.0)	92.5(-1.2)
将来の夢や希望をもっていますか。	85.8(-0.8)	70.5(-2.0)
	84.8(-1.6)	71.1(-2.6)
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	91.3(-1.0)	91.5(-1.3)
	93.2(+1.5)	92.5(-0.1)
学校の決まり(規則)を守っていますか。	87.3(-2.6)	87.5(-5.0)
	94.2(+4.4)	92.0(-0.2)
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。	92.1(-3.6)	90.0(-2.5)
	95.1(+0.1)	94.0(+1.2)

※自分を大切に思う気持ちや将来に対する夢や希望をもつことについて、県の平均値よりも低くなっています。

5-3 生活習慣と学力の関係について

(1) 生活習慣(就寝時間)と学力の関係

校種		平均正答率(%)			
		国語A	国語B	算数・数学A	算数・数学B
小学校	同じ時間に寝る	70.2	47.9	72.4	50.9
	同じ時間に寝ない	59.8	36.8	59.7	36.0
中学校	同じ時間に寝る	79.7	51.7	63.6	55.6
	同じ時間に寝ない	60.2	27.6	38.7	30.7

※小学校・中学校ともに夜遅くまで起きていたり、寝る時間が不規則な児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒に比べて低くなっています。

(2) 生活習慣(起床時間)と学力の関係

校種		平均正答率(%)			
		国語A	国語B	算数・数学A	算数・数学B
小学校	同じ時間に起きる	70.3	46.8	72.3	50.8
	同じ時間に起きない	47.6	26.7	51.8	27.5
中学校	同じ時間に起きる	78.4	47.7	62.0	53.8
	同じ時間に起きない	40.3	22.2	24.3	16.7

※小学校・中学校ともに早起きの習慣がなかったり、起床時間が不規則な児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒に比べて低くなっています。

(3) 朝ごはんと学力の関係 () は昨年度の割合

校種	朝食を毎日食べていますか。	平均正答率 (%)			
		国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B
小学校	食べている	69.5(56.2)	47.0(44.0)	71.6(74.9)	50.0(53.4)
	全く食べていない	46.7(46.3)	28.3(33.3)	48.0(70.2)	23.1(48.7)
中学校	食べている	79.3(77.3)	47.3(69.2)	61.9(59.6)	53.4(35.5)
	全く食べていない	54.3(43.8)	25.6(22.2)	35.5(26.4)	22.9(9.4)

※朝ごはんを毎日食べている児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒に比べて圧倒的に高くなっています。

(4) テレビやビデオ、DVD等の視聴時間と学力の関係 () は昨年度の割合

校種	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ、DVDを見たり聞いたりしていますか。	平均正答率 (%)			
		国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B
小学校	1時間以上、2時間より少ない	70.4(62.1)	48.1(48.0)	74.3(78.2)	49.5(55.0)
	4時間以上	66.6(51.5)	45.7(38.2)	69.5(70.3)	46.6(51.9)
中学校	1時間以上、2時間より少ない	80.6(76.7)	47.1(66.9)	61.3(59.0)	53.7(35.4)
	4時間以上	69.0(71.7)	36.8(63.4)	51.1(50.8)	40.6(27.2)

※時間を決めテレビ等を視聴している児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒に比べて高くなっています。

(5) ゲームをする時間と学力の関係 () は昨年度の割合

校種	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式ゲーム含)をしますか。	平均正答率 (%)			
		国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B
小学校	1時間より少ない	71.0(59.0)	48.4(45.5)	71.5(76.2)	49.0(56.8)
	4時間以上	61.7(48.6)	43.5(34.3)	66.8(67.6)	45.2(43.5)
中学校	1時間より少ない	83.3(77.2)	53.9(68.7)	66.7(61.0)	59.5(34.6)
	4時間以上	66.2(70.9)	32.8(61.3)	45.5(45.4)	33.5(21.8)

※時間を決め節度を守ってゲーム等をしている児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒に比べて高くなっています。

(6) 携帯電話やスマートフォンを利用する時間と学力の関係

校種	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、をしますか。	平均正答率（％）			
		国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B
小学校	持っていない	70.1	46.7	71.2	50.3
	1時間より少ない	70.8	48.9	74.9	50.9
	4時間以上	56.7	34.4	61.8	36.1
中学校	持っていない	79.2	45.8	62.3	54.3
	1時間より少ない	75.3	41.0	56.8	47.4
	4時間以上	67.5	35.9	46.8	36.6

※時間を決め節度を守って携帯電話やスマートフォンを利用している児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒に比べて高くなっています。また、携帯電話やスマートフォンを持っていない児童生徒の正答率はさらに高い傾向にあります。

5—4自分を大切に思う思いと学力の傾向について

(1) 自分を大切に思う気持ちと学力の関係 () は昨年度の割合

校種	自分にはよいところがあると思いますか。	平均正答率（％）			
		国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B
小学校	当てはまる（思う）	63.3(53.9)	45.1(42.4)	69.3(71.9)	45.6(49.3)
	当てはまらない（思わない）	66.3(48.4)	41.8(27.8)	71.6(66.6)	46.6(40.7)
中学校	当てはまる（思う）	74.8(72.1)	46.0(60.4)	58.6(52.4)	49.0(31.9)
	当てはまらない（思わない）	73.1(72.5)	41.5(63.4)	51.5(47.8)	42.9(25.0)

※自分を大切に思う気持ちをもっている児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒に比べておおむね高くなっています。

(2) 将来の夢や目標をもつことと学力の関係 () は昨年度の割合

校種	将来の夢や目標をもっていますか。	平均正答率（％）			
		国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B
小学校	当てはまる（もっている）	68.7(55.7)	47.2(42.7)	70.9(74.6)	48.5(52.4)
	当てはまらない（もっていない）	62.8(48.7)	36.2(32.7)	66.7(64.9)	42.9(45.4)
中学校	当てはまる（もっている）	75.9(76.7)	45.4(67.1)	58.0(57.4)	49.3(33.3)
	当てはまらない（もっていない）	75.7(75.1)	42.7(66.5)	56.5(56.5)	49.8(33.4)

※将来の夢や目標をもっている児童生徒の正答率は、そうでない児童生徒に比べて高くなっています。

6 「確かな学力」の育成に向けた本市の取組

本市では、宮城県教育委員会が示した「学力向上に向けた5つの提言」(※)を踏まえ、児童生徒の「確かな学力」の向上を図るため、次のような取組を行っております。

(1) 授業改善に向けて

- ① 各中学校区の小・中連携(矢本一中、矢本二中、鳴瀬未来中の小・中学校連携)による授業参観や授業研究を行い、小・中学校の円滑な接続に努めています。
- ② 市域の高等学校と連携し、高校の教員の専門性を生かした小学校や中学校での出前授業や少人数指導、ティームティーチングによる個に応じた指導の充実を図っています。
- ③ 県教委と連携し、学力向上サポートプログラム事業に市内の5つの小中学校を指定し、国語、算数・数学の学力向上を目指した取組を強力に進めています。
- ④ 市内小中学校の教員7名に教科等指導員を委嘱し、授業改善や教員の指導力向上に向けて、各学校の校内研究等における中心的役割を担っています。
- ⑤ 市内小中学校の教員を対象に「教師塾」を年間10回実施し、毎回多彩な講師による指導のもと、実践的指導力の向上を図っております。
- ⑥ 国語と算数・数学の到達度テスト(CRT検査、対象：小2～中2)を実施し、その結果分析を市教科等指導員が行うとともに、市小・中学校長会との連携により教務主任者研修会を開催して、授業の工夫、改善策をまとめ、各校の授業づくりに生かしています。

(2) 学習習慣の定着に向けて

- ① 学び支援コーディネーター事業により、「イトっ子学習会」を展開し、放課後や土曜日曜、長期休業期間の児童生徒の学習をサポートしています。
- ② 各家庭に配布しているリーフレット「家庭も学びの場一望ましい生活習慣や学習習慣作りに向けて」や児童生徒に配布している「学習の手引き」に基づき、家庭における生活習慣や学習習慣づくりの呼び掛けを行っております。

(3) 志をもつ児童生徒の育成に向けて

- ① 市内の中学校区ごとに展開している「志教育」で次のような取組を行っております。
 - ・小・中・高の異校種間連携による出前授業や授業研修会等の実施。
 - ・心あったかイトころ運動(「あいさつ」「清掃」「ゴミ拾い」)の継続的な実施。
- ② 各学校では、確かな学力を支える健康な体づくりと体力の向上に努めています。
 - ・「体力・運動能力調査」の結果考察に基づく様々な体力づくり運動の取組。
 - ・「はやね・はやおき・朝ごはん」の推奨。
- ③ 地域ぐるみで児童生徒を育てる体験活動の充実を図っております。
 - ・協働教育(プラットフォーム)推進事業の充実。
 - ・職場体験学習等を中心としたキャリア教育の充実。

※「学力向上に向けた5つの提言」（平成25年10月 宮城県教育委員会）

1 どの子供にも積極的に声掛けをするとともに、子どもの声に耳を傾けること。

どの子供にも一日一回は声を掛け、子供の話をじっくり聞くことが、心のケアや人間関係づくりにつながります。

2 子どもをほめること、認めること。

子供は、ほめられると集中力が高まります。授業中にほめたり認めたりすることは、学習評価の一つです。

3 授業のねらいを明確にするとともに、授業の終末に適用問題や小テスト、授業感想を書く時間を位置付けること。

本時のねらいをより具体的に設定し、1単位時間で育てる力を明確にします。授業の終末には、子供の学びを的確に把握し後の指導に生かすようにしましょう。

4 自分の考えをノートにしっかり書かせること。

黒板を書き写すだけでなく、自分の考えをノートに書くように指導します。書くことは、思考力、表現力を育てます。ワークシートではなく、ノートづくりを徹底しましょう。

5 家庭学習の時間を確保すること。

学校で学んだことを家庭で復習することは、知識や技能の定着につながります。予習は授業での理解を早めます。何よりも、保護者から、子供に声を掛けたり子供の努力を認めたりすることが、家庭学習への意欲づけにつながります。そのことを保護者に伝えましょう。また、各学校で作成している「家庭学習の手引き」の中に、家庭学習のメニューを具体的に記載するとともに、適度な量の宿題を課しながら家庭学習を習慣づけましょう。

7 保護者、地域の皆様へ

昨年度に引き続き、今回の調査からも、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、知識の活用を図る指導の充実が、学力向上にとって極めて重要であることが分かりました。

また、家庭における「早寝・早起き・朝ごはん」などの生活習慣はもとより、テレビの視聴時間、ゲームをする時間、携帯電話やスマートフォンを利用する時間について節度をもつことや、計画的に家庭学習をすることが、本市の学力向上の課題解決に向けて大きく関連していると考えられます。

児童生徒の確かな学力の定着を図るために、各家庭では、以下のような取組をお願いします。

- 基本的な生活習慣や家庭学習習慣を身に付けさせましょう。
- テレビ視聴時間やゲーム、携帯電話・スマートフォン等の利用について、お子さんとルール作りをしましょう。
- 家庭での読書をさらに勧めましょう。
- 子どものよさを見だし、本気でほめましょう。
- 郷土の自然や文化に触れる幅広い体験をさせましょう。

将来への「志」をもたせることや自立心を養うことが、学力向上の土台であり、学習習慣や生活習慣の確立に極めて重要です。

今後も、子どもたちに対して、家庭や地域の温かい見守り、お声掛けをお願いいたします。